

生物資源コース 社会人講師「虎屋」様、来校

10月21日(水)に、「とらや」でおなじみの老舗和菓子店、株式会社「虎屋」様に来校していただき、本校2年生生物資源コースの26名に対して、白小豆についての講義をしていただきました。

白小豆は、群馬県でも利根沼田地域が国内の80%以上の生産量を誇ります。講義では、なぜこの地域がそこまでの一大産地になれたのかということを中心にお話しいただきました。その中で、利根沼田地域の白小豆栽培が約10年前から開始されたことや、この地域が白小豆の栽培に適した気候であること、また農家の皆様の丁寧な栽培によってここまでの生産量となっていることなどについて、学習することができました。

10月29日(木)には、実際に昭和村の白小豆栽培圃場に出向き、一般的なものよりも小さい粒の白小豆を、手作業で収穫し、脱穀機に投入するまでの作業を体験させていただきました。その後も、脱穀後の調整作業の様子を見学してもらうなど、これらの貴重な体験の中で、白小豆が利根沼田地域の重要な農作物であることを、生徒たちは再認識することができました。



